

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493800039	事業の開始年月日	平成19年2月1日	
		指定年月日	平成19年2月1日	
法人名	特定非営利活動法人 折本福祉サービス			
事業所名	グループホーム蘭寿おりもと			
所在地	(〒224-0043) 神奈川県横浜市都筑区折本町1374-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成27年1月9日	評価結果 市町村受理日	平成27年4月20日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの周りは緑に囲まれ、田畑が多く、散歩など環境面には恵まれております。日常生活の中で利用者様と職員とが仲良く、一緒にお散歩する事から1日が始まり、天気が悪い日などはユニット内でトランプ、ぬり絵、歌レクなどたくさんの遊びを取り入れ、楽しんで過せる環境を提供できるように取り組んでおります。1年を通じて季節に応じた様々な行事を行い、お花見、やきいも大会、歌謡ショー、踊りなど時にはドライブを兼ねて回転寿司など外食にも出かけ、お好きな物を食べられている様子は、本当にニコニコと楽しそうです。地域での活動も活発で、獅子舞やお神輿、盆踊りなどにも積極的に参加し地域の皆様との活動も行なっております。利用者様と職員とが一体となり喜びも悲しみも共有、傾聴させて頂き、利用者様にとって安心して、穏やかに過ごしていただけますように日々努力してまいりたいと思います。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成27年2月6日	評価機関 評価決定日	平成27年3月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】
 ◇理念をふまえた利用者支援
 ・理念に「利用者本位」を掲げ、利用者のありのままの姿を受容し、その人の立場になり考え、その人らしく生活できるよう丁寧なケアを行っている。
 ・理念実現のために、全職員で考えた13項目の行動指針「蘭寿クレド」を毎朝唱和し、実践につなげている。
 ・職員は利用者本位のケアの優先順位として、①しなければならないこと(利用者に本当に必要なこと)②して欲しいこと(利用者が望むこと)③してあげたいこと(職員本位)を考慮し行動している。
 ◇利用者と家族が安心できる医療体制
 ・月2回の協力医の往診と医療連携による24時間対応、週1回の訪問看護師による健康管理、訪問歯科の治療体制は、利用者や家族に安心感を与えている。
 ・重度化した場合、家族、医師、看護師、職員が連携し方針を共有して支援する体制ができています。
【事業所が工夫している点】
 ◇家族へ丁寧な報告
 ・毎月家族に送る通信文で、利用者の健康状態をはじめ、生活状況などを写真を添えて丁寧知らせ、家族に安心感を与えている。また家族は、月に数回更新するホームページで伝える利用者様子を見るのを楽しみにしている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム蘭寿おりもと
ユニット名	いぶき

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3, 利用者の1/3くらいの
	4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3, たまにある
	4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	○ 3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と
	○ 2, 家族の2/3くらいと
	3, 家族の1/3くらいと
	4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように
	○ 2, 数日に1回程度ある
	3, たまに
	4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	○ 2, 少しずつ増えている
	3, あまり増えていない
	4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が
	○ 2, 職員の2/3くらいが
	3, 職員の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	○ 2, 家族等の2/3くらいが
	3, 家族等の1/3くらいが
	4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「利用者本位」を理解し日々のサービスに反映出来る様に対応しております。職員全体でクレドカード毎朝唱和し、理念の共有を行っております。	・理念に「利用者本位」を掲げ、利用者のありのままの姿を受容し、その人の立場になり考え、その人らしく生活できるよう支援している。 ・理念実現のために全職員で考えた13項目の行動指針「蘭寿クレド」を毎朝唱和し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事にに参加したり、コミュニケーションを積極的に取っております。又、防災、防犯などの訓練も行っております。	・自治会に入会し、盆踊りや祭り、防災訓練に利用者職員が参加し、地域の一員として活動している。 ・トーンチャイムコンサート、パイオリン、フルートの演奏やフラダンスなどのボランティアを受け入れ、利用者は交流を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症についての、疑問や支援の方法等の情報を発信し、地域の方にご理解頂ける様に努めております。(ホームの行事に参加頂ける様に働きかけております。)		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度も2ヶ月に1度のペースで運営推進会議を開催出来ました。今後も地域の方のご意見も聞き、内容など良く検討し、サービスの向上に努めております。	・2か月ごとの運営推進会議で、事業所の活動報告後、意見交換を行っている。 ・会議では自治会の行事について、インフルエンザや予防接種状況などを話し合い、情報交換で得た提案や意見を運営に反映させている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者に報告、連絡、相談を行い、より深い協力関係を築ける様にしています。ブロック会議や、運営推進委員会に参加しお話の機会を作ります。	・グループホーム連絡会議に管理者が参加し、情報を入手するとともに、行政の担当者と顔を合わせ、協力関係を築いている。 ・区福祉保健センター主催の感染症に関する研修に職員が出席し、フロア会議で報告を行った。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は一切しておりません。今後も拘束のない様に職員間で注意し合い、安全で安心して過ごして頂ける様に努めております。	・職員は内部研修で身体拘束防止を学び、身体拘束をしないケアを徹底している。 ・特に言葉の拘束には、職員間でお互いに注意しあっている。 ・玄関は不審者侵入対策と利用者の安全確保のため、施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に職員同士で注意しあい、身体的、精神的な虐待防止に努めております。又、怪我など体の異変も見逃さないように努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的に勉強会を行い、より深く理解できるように努め、必要がある方には、それらを今現在も活用しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は十分な説明、質問の時間を取り、利用者様とご家族様が納得できるように取り組んでおります。ご家族様からの質問にも迅速に正確に対応しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	全職員がご意見、ご要望を聞ける体制を取り、話し合いを行い、よりよいサービスの向上に努めております。	・家族の意見や要望は来訪時や運営推進会議、電話連絡などで聴き、ケアに生かしている。 ・外出を増やしてほしいとの意見があり、散歩以外にもちょっとした時間を利用して、外食や買い物など外に出かける機会を多くした。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務の中でも、意見や提案を聴き、月に一度フロア会議も行い、問題点を改善しております。	・管理者はフロア会議や毎日の申し送りで職員の意見・要望・提案を把握し、運営に反映している。 ・職員の提案で日勤、遅番、夜勤の業務分担を変更し、空いた時間を見守りや入浴時のケアなどに充て、サービスの向上を図った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力や、実績などをより正確に把握し、今よりさらにモチベーションを高くもって業務に当たれるように工夫して参ります。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々のケアの仕方や性格などをより深く理解して参ります。又、研修の機会も多くスキルアップに努めて参ります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修などを通じグループホーム同士での交流を重ね、情報交換を行い新しいサービスの提供やサービス控除に努めて参ります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常にお話を傾聴することに努め、利用者様との信頼関係を築き、より安心して過ごして頂けるように、全職員で心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前から必要な情報を収集して、職員間で共有し、サービス開始時から、出来るだけ不都合なく過ごして頂き、関係を深めていけるように対応しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様とご家族様と意見を交換し合い、今、必要な支援を見極め、他業種の方々とも協力し、サービスを提供しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	立場にとらわれず、利用者様と積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を築き、時には家事の一部をお手伝いして頂くこともあります。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が来訪しやすい環境作りに努め、来訪された際は近況報告や今後の事などを、意見交換し、立場にとらわれず、お互いに協力しあえる関係づくりに努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前にご本人が大切にされていた物や、人間関係などを、日々のコミュニケーション等で把握し、今後も継続していけるように対応しております。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の会話の中から、利用者の馴染みの人や思い出の場所などを探し出し、関係が途切れないよう個別に支援している。 ・親戚や友人の来訪時には、お茶を入れ居室か居間で歓談するよう配慮している。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様、一人一人に気を配り、入居者様同士の相性等も考慮し、職員が間に入り、円滑にコミュニケーションが取れるように支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も、これまでの関係性を大切にし、いつでも相談してもらえるような、開かれたホームを目指しております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを密に取り、その方が本当に思っていることなどをくみ取り、職員間で話し合い、よりその方に合ったサービスが提供できるように対応しております。	・利用者の「今やりたいこと」の実現に力を入れており、家族の情報と毎日のかかわりの中での表情や会話から思いや意向を把握している。 ・把握した思いや意向は、個人ファイルと連絡ノートに記載し職員間で共有しケアに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前にご本人と面談したり、ご家族様からお話を聞いたりし、又、入所後もコミュニケーションを重ね、把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の過ごし方や、体調変化等、常に注意深く観察し、毎日の申し送りや定期的なカンファレンスで、情報を共有し、把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人を含めすべての関係者とカンファレンスを重ね、現状で最も必要な介護計画を作成しております。	・介護計画の作成・変更時には、本人、家族に希望を聞き、職員からは日頃の様子とケアの実情を聞き、必要に応じて医師、看護師の意見を採り入れ介護計画を作成している。 ・介護計画は6か月ごとに見直し、家族の同意を得て実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中、夜間の様子を個別に記録し、毎日申し送りを行い職員間で情報を共有し、問題点があれば速やかに改善するように努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今までの経緯などを大切にしつつも、その時にもっとも適したサービスを外部の機関とも協力しながら、視野を広く持ち、提供できるように努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	その方の残存能力を活かせるように、環境の整備に努めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、皮膚科、歯科などの往診、週1回の訪問看護があり、普段の生活の中でも、少しの体調変化も見逃さない様、職員間で注意しあい、早期発見、早期治療を心がけております。	・内科は全員が協力医をかかりつけ医とし、月2回の往診がある。 ・毎週、訪問歯科の治療と看護師の健康管理を行い、看護師とは24時間連携体制が整っている。 ・専門医への通院付添は家族が行うが、状況に応じ職員が対応する。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週必ず看護師に状況報告を行い、意見交換をして、一人一人に合ったケアを提供するように努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は速やかに往診医に適切な指示を受け、ご家族にも連絡を取り、病院関係者とも協力を仰ぎ、不安なく治療に専念できるよう努め、何時でも退院出来るように努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期を迎える可能性のある方には、早期にご家族、医療関係者などと話し合い、今後どのようにケアしていくか、関係者全員で方針を共有できるように努めて参ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化した場合の事業所ができる対応を、入所時に本人と家族に説明している。 ・重度化や終末期には、家族、医師、看護師、職員が連携し、方針を共有して支援する体制ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象に研修会を実施し、ターミナルケアの理解と情報を共有することが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日々の体調変化に注意し、定期的に勉強会や、初期対応の練習をしたり、常に緊張感を持って業務にあたり、事故のない環境作りに努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	必ず月に1回以上、昼、夜避難訓練を行い、身体で覚え、万が一の時には迅速に動ける様に努めております。	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回隣接する系列事業所と合同で、地元消防団の協力を得て夜間想定を含めた消防避難訓練を実施している。 ・災害時に備え、食料・水などを備蓄しているが数量が不十分であり、増量を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄リストを作成して、職員が情報を共有されることが望まれます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に尊敬の念を持ち、介助、言葉使いなど、職員同士注意しあい、プライバシーを守るように努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自尊心を傷つけない、その人に合った言葉かけや対応をしている。 ・プライバシー確保と守秘義務の観点から、個人記録は、名前の代りに居室番地を記入し、事務室内のキャビネットに施錠保管している。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様のご希望、ご要望は、出来るだけ叶えられる様に努力しております。又、自己決定が出来やすい様にコミュニケーションを積極的に行い信頼関係を築く様に努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様本位を心掛け、職員側の都合にならないように、職員同士が注意しあい、出来るだけご自由に過ごして頂ける様に努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	普段の身だしなみや、外出時などの格好など、その時々で、その方に合った身だしなみを、ご本人と確認しながら行っております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人に合った食事形態を常に考え、少しでも美味しく召し上がって頂ける様に努め、食後のお手伝いも負担のない程度に行っております。	<ul style="list-style-type: none"> ・献立と食材は業者に委託して職員が調理し、利用者の状況に応じて刻み食やとろみ食を提供している。 ・利用者はできる範囲で下膳や食器洗い、食器拭きを手伝っている。 ・誕生日には好みのもので祝い、ときには外食に出かけ食事に変化をつけて楽しんでいる。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方に合った食事量を把握し、栄養が足りないときは、栄養補助食品など工夫し補い、水分も摂取状況を見ながら、水分不足にならないように介助しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアセットを用意し、介助が必要な方は介助し、口腔内の清潔保持に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時の声掛けや、トイレ誘導を行い、排泄の習慣をつけ、紙パンツやパッド内での汚染がどれくらいあるのか、データをしっかり取り、自立に向け支援しております。	・排泄表で個人のリズムを把握し、利用者の様子を見ながら声掛け誘導しトイレでの排泄を支援している。 ・夜間も失禁を防ぐため、ポータブルトイレを使ったりトイレ誘導している。 ・声掛けをすることで失禁が減った例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腸の動きを良くする食事の工夫や、往診のドクターとも相談し、便秘の予防やスムーズな排便が出来るように対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その時の体調をよく観察し、ご本人の要望を聞き、無理強いせずに入浴して頂いております。又、入浴の大切さなども理解して頂ける様に努めております。	・入浴は平均して週2回、時間帯は利用者の希望に応じている。 ・入浴を職員と1対1でゆっくり話せる機会と捉え大切にしている。 ・入浴を好まない利用者には、時k間や職員を変え言葉かけを工夫し、さりげなく誘導している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の生活リズムを大切にし、安心して休んで頂ける様に環境整備に努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬前と実際に服薬す時と、必ず職員二人以上で確認し、確実に服薬して頂く様にしております。又、ドクターとも相談しながら、その方に合った薬を処方し、薬の影響なども記録に残し情報を共有しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	フロア内でのレクリエーションの他に、外出したりして、普段とは違う雰囲気を楽しんで頂いたり、一人一人の趣味に合わせたレクリエーションを提供するようにしております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、出来るだけお散歩に参加して頂き、季節に合った外出レクリエーション等、定期的に企画、実行しております。又、ご家族様にもご参加して頂いております。	・天候や体調に配慮し、車椅子の利用者も一緒に近所の散歩、事業所前での外気浴など、外に出る機会を設けている。 ・ドライブを兼ねてララポートやランドマークタワーに出かけ、帰りにはお茶や外食を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失のない様にご本人様とも確認し保管し、希望のある時はいつでも使用できるようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望のある時はすべて対応しております。又、必要な方にはご家族様と相談し、携帯電話をお持ちいただくなどしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全利用者様が不安なく安心して過ごして頂ける様な環境作りをし、季節に合わせて、フロア、居室の模様替えなどしております。	<ul style="list-style-type: none"> ・温湿度や換気に配慮した居間は明るく、テーブルとソファが置かれ、テレビを見る、ゆっくり休むなど心地良く過ごせる空間になっている。 ・壁面には季節感のある雪だるまの貼り絵や利用者の塗り絵が飾られている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い方同士のコミュニケーションの場、お一人で気兼ねなく過ごせる場等、要望をお聞きしながら提供させて頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様、ご家族様と相談し、居室内の県境整備を行い、入所前から使い慣れているもの等も取り入れ、居心地よく過ごして頂ける様に努めております。	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン、照明、クローゼット付の居間に、利用者はベッド、箆笥、衣裳入れ、机、椅子など、好みのものを持ち込み、また、家族の写真や縫いぐるみなどを飾り、自分らしい部屋にしている。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの位置や、座席の位置、利用者が使われるもの等、安全を確保したうえで出来るだけ自力で行えるように、その時の状況に合わせて工夫しております。		

事業所名	グループホーム蘭寿おりもと
ユニット名	あけぼの

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者本位という理念を第一に考え、職員全体でクレドを毎朝唱和し、理念の共有を意識しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事（盆踊り等）に参加したり、日々の散歩の際に挨拶を交わしています。地域の方には、ボランティアで定期的に演奏会を開いて頂いて、交流を深めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地元神社に初詣に行ったり、町内で行なわれている行事（祭事）に積極的に参加しています。こども110番にも登録しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催する事が出来ました。地域の方々のご意見を反映出来る様に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役所のケースワーカーの方と連携を取る様にしています。運営推進会議等では、担当者の方から連絡を受けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わない為に、職員間での声かけ見守りを強化し、安心して生活して頂ける様に密な連携を取っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴・着替え等の機会では、常に入居者様の身体を複数の職員で細かくチェックしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する勉強会が開催出来ていない為、学ぶ機会が設けられていません。今後は、各自理解出来るように体制を整えていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前にご家族様へ入退去について、詳しい説明を行っています。疑問や新たな質問等にもその都度、迅速に対応し、十分な説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時に現状の報告を行い、ご家族様のご要望などがあれば、直ぐに取り入れる様に迅速に行動しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロアー会議を行い、職員の意見が伝わる機会を定期的に持っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者が日頃より、職員とのコミュニケーションを積極的に取っており、状況把握に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個別対応の介助が行えるようになるまで内部研修を行ったり、スキルアップ出来る様に外部研修にも積極的に参加出来る環境を整えています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修の場を設け、互いに高めあっていける様に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安心して生活して頂ける様に、常に傾聴するなど、信頼関係を深める努力を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前より十分な面談を行い、訪問時に要望等お聞きしながら、信頼関係の構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の方との連携を蜜にし、現状を把握し、必要なサービスが行われているか、見極めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活を通して信頼関係を深め、それぞれが出来る事をしながら、他者との共同生活を行える様に努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	イベントへの参加をお願いしたり、月末には毎月の近況報告の送付を行うなど、ご本人様の状態を常に知って頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	定期的に外出支援を行ったり、訪問し易い環境作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人ひとりにあった、趣味や共有できる話題などを通して、孤立してしまわないように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族様へ連絡するなどし、相談・支援が出来る体制を整えています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様やご家族様からのご意見を伺い、ご本人様にとって最良のケアが出来る様に工夫し支援を行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様や、ご本人様との会話の中で、今までの生活歴などの把握に努め、安心出来る住みやすい生活環境を提供出来る様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや業務日誌、連絡ノートを活用して情報の共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なカンファレンスや、モニタリング表を作成し、職員全体で介護計画を話し合っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録や申し送り等を活用し、会議の場で話し合い。介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じて外部ヘルパー・訪問マッサージを利用する支援を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人の意向や必要に応じて、地域資源を生かした活動が出来る様な支援を行います。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、皮膚科、歯科の往診、毎週月曜日の訪問看護で、健康状態の把握を行い、的確に必要な医療機関に掛かれる体制を整えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週月曜日の訪問看護の時に現状報告を行い、適切な受診や治療が受けられる環境を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医による、適切な治療の受けられる医療機関への紹介・連携が取られており、ご家族様への説明も行って頂ける様な体制が整えられています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に現在の医療対応、施設対応の限界について説明を行っていますが、終末期へ移行した場合には、速やかにご家族様へ医師から説明を行っていきます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルに沿った行動が取れる様に、日頃から手順を確認したりして緊急時に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防署による、避難訓練が行われ、避難経路や消火器の使い方など、実践の訓練が行われています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自尊心を傷付けない対応や声かけが出来る様に、職員一人ひとりが優しい声かけを行える様に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に自己決定できる様な声かけを行っています。自己決定が難しい方に関しても、介護者の思いで動かないような配慮をする様に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様の希望に沿った生活が送れる様に、細やかな声かけを行い現状把握に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様とご家族様の希望に沿った身だしなみが整えられる様に、支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	外食の機会を設けたり、食事の準備、片付けなど一緒に行い、食事をする楽しみを見つけられる様にしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量は、細かくチェックし、適切な量が提供されているか管理、確認を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	適切な口腔ケアが出来る様に、個々にあった声かけ介助を行って清潔を保つ様に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄も細かく日誌に記載し、個々の状況やパターンを把握する様にしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘時には医師の指示を仰ぎ、お体に負担が掛からない様に、早期処置を行っています。また、生活状況の見直しも行う様にしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	時間帯は決まっていますが、その時間内であれば、ご希望にそったかたちで入って頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室がご本人様にとって一番の心地よい空間となる様に、生活習慣にも沿った形で配置・整備を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬の服薬に関する変更は、職員全員が直ぐに把握できる様に、ノートに記載しています。また、薬説は最新のもの直ぐに確認できる様に別のファイルを用意しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様が希望されるお手伝いや、お好きなレク等を把握し、気持ち良く参加して頂き、気分転換ができる様に努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日や、無理のない季節の場合には、お散歩や日光浴にお誘いしています。また、外食に出かける機会を設けています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で管理ができる方には持ってもらっています。また、管理の難しい方に関しては、事務所で預りしています。また、その旨をご本人様にお話しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでも使えるようにしており、ご家族様と繋がりが持てる様にしています。お手紙に関しても同様で、やり取りが出来る様に支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節にあった飾りを取り入れたり、レクや行事を行う事で四季を感じて頂ける様にしています。空調管理や、湿度にも気を配り、快適な空間が保てる様に努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様同士の繋がりも大切にし、コミュニケーションが取れる様にお体の状態を配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や、好きな物を、ご本人様とご家族様のご要望を取り入れながら配置して、心地よい空間作りに努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る範囲の事はして頂く様にし、無理のない範囲で自立した生活が送れる様にしています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム蘭寿おりもと

作成日 平成27年3月19日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	開設以降、終末期を迎えられると同時に病院へ入院される事が殆どだったため、管理者同士では話しあっていたが、ホーム全体としての方針が打ち出せていなかった。	ターミナルケアを行なう為に、家族、医師、介護者が何処まで関わっていけるか明確なラインを打ち出し、そのために研修にも参加する。	まず、往診医、家族、職員が、その方の状況をしっかり把握し連携して対応していく。緊急時帯、急変時も落ち着いて対応ができるように普段から研修などに参加し学習しておく。	1年
2	13	備蓄のリストが作成されていない。	備蓄の把握点検する。	早速、お水、お米を今までより多く準備している。缶詰類に関しては、消費期限等の把握をする。	6か月
3					
4					
5					